

⑩総合防災 コース構成表（第1期）

No.	H27年度研修の体系の単元(案) (第4階層)	単元 (第4階層)	手法	単元の概要	講師名	学習目標 (第5階層)
1	防災基礎総論	拡充	新規 総合防災政策	座	総合的に防災政策を推進していくことの基本的な考え方を予防対策から応急対策への流れに沿って学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 ・ 応急対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 ・ 地域の防災力をどのように向上させるのか基本的な考え方を説明できる。
2	「災害への備え」総論	拡充	被害想定	座	防災政策の前提条件となるリスク評価と被害想定の方針について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震のリスク評価と被害想定の方針を説明できる。 ・ 河川氾濫と土砂災害のリスク評価と被害想定の方針を説明できる。
3	警報避難総論	拡充	新規 被害抑止政策	座	防災政策のうち、被害を抑止するための構造物や建築物に対する対策について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水害をどのように防ぐのか総合的な水防対策を説明できる。 ・ 土砂災害をどのように防ぐのか国の砂防事業の方針と地方の課題について説明できる。 ・ 建築物に対する耐震化や室内安全対策による被害抑止政策について説明できる。 ・ 出火延焼防止や危険物管理など消防事業と都市防災事業による被害防止対策について説明できる。 ・ 津波防潮堤設計の考え方と避難対策を組み合わせた津波災害への総合的な対策について説明できる。
4	応急活動・資源管理総論	統合	防災政策演習	演	具体的な被害想定を基に、どのような防災政策を立案して推進していくべきか、地方議会での常任委員会模擬答弁の作成を通じて考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被害想定を基にした防災政策の立案方法を説明できる。 ・ 減災目標を定めた防災政策の推進手法を説明できる。 ・ 災害予防対策の留意点と課題を説明できる。
5	被災者支援の全体像	統合	組織外の応急活動政策	座	外部からの応急活動において、広域防災拠点ネットワークの考え方と応援支援の実態について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域防災拠点ネットワークと緊急輸送路ネットワークの考え方を説明できる。 ・ 都道府県や市区町村の広域応援の実態について説明できる。
6	復旧復興総論	統合	組織内の応急活動政策	座	災害対策本部における応急活動の実態について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策本部における災害応急活動の実態について説明できる。 ・ 災害対策基本法の運用について説明できる。 ・ 災害救助法の適用事例について説明できる。
7	指揮統制総論	統合	災害対策本部体制	演	災害対策本部体制を構築するために必要な組織や機能、空間レイアウトなど事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを演習形式で学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対応におけるプロジェクトマネジメントとしての災害対策本部体制の枠組みを説明できる。 ・ 災害対策本部体制を構築するために必要な組織を説明できる。 ・ 災害対策本部体制に求められる機能を説明できる。 ・ 災害対策本部に必要な空間レイアウトを説明できる。 ・ 災害対策本部運営の流れを説明できる。 ・ 災害対策本部運営の心構えを説明できる。
8	対策立案総論	拡充	全体討論	演	総合防災政策立案について学んだことを、受講者がそれぞれの自治体でどのように反映させるのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。
9	リーダーシップ 広報・安全管理 人材育成総論	維持				
10	全体討論					